

国語科 中学校 2年

単元名 古典に親しむ
「仁和寺にある法師」
—「徒然草」から—
光村図書 「国語2」

単元の流れ（全5時間）

【第1次】

主な学習内容

第1時 原文を繰り返し音読し、読み慣れる。
歴史的仮名遣い、文章の構成を理解する。

【第2次】

主な学習内容

第2時・第3時 古文の表現に慣れ、その特徴をつかんで読み味わう。
この段のおもしろさをとらえる。
場面の状況を理解し、作者の考えを読み取る。

【第3次】

主な学習内容

第4時 条件に応じた作文「現代版仁和寺にある法師」を書く。

作文の条件はこちら

CLICK

「活用」の力育成のために

原文を理解した上で、地図を読み取り、想像力をふくらませる。

生徒の作品

CLICK

【第4次】

主な学習内容

第5時 グループに分かれ、優秀作品を選ぶ。
優秀作品の朗読を聞く。「仁和寺にある法師」の主旨を理解する。（本時）

「活用」の力育成のために

話し合いの中で、相手を意識して自分の考えを表現するとともに、互いの考えを聞く姿勢を育てる。

単元目標

- 古文をくり返し音読し、文章の内容や優れた表現を味わい、登場人物や作者の思いなどを想像する。

単元構成の意図

内容の読み取りがより正確になるように、条件作文を最後に置いた。
また、内容理解の前段として「読み慣れ」を行う。その際、一斉読みや指定読みなどを織り交ぜ、古文のリズムを楽しむ態度を育成する。
さらに集団解決の場として、グループごとに優秀作品を選ぶ活動を設ける。

「活用」の力を育てるポイント

- ①現代版「仁和寺にある法師」を書くことにより、原文の読解を深める。
- ②相手を意識して自分の考えを表現させる機会を確保する。
- ③話し合いをさせることにより、互いの考えを聞く姿勢を育て、その中で多面的に思考する力を育成する。

本時の流れへ

評価問題

CLICK

HOME